

2020年3月2日

2020年2月21日開催の北辰会拡大常任幹事会報告

北辰会事務局長 前田直人

2019年の活動を総括し、2020年活動内容の意思統一を図る拡大常任幹事会を開催致しました。常任幹事会は昨年9月20日以来であり、いつもの十三東「こがんこ」での開催です。会長以下12名が出席し2020年4月開催予定の北辰会幹事会「議案書」の討議と決定が主議題でした。北辰会幹事会では現状活動に即した会則改正を目指しています。

会長、水口会計監査様も体調を回復されて、お元気な様子を見せて頂き、皆さん安心させて頂きました。

会議は小河原副会長の司会で始まりました。岡田会長から兼田事務局次長の「北辰HP」の記事「五重塔は巨大地震でもなぜ倒れないのか」に痛く感動した。技術、教育の観点から深めた文章で現在の日本の工業水準の維持発展への警鐘だと理解できた。などの挨拶がありました。

前田事務局長・会計から、北辰会財政基盤が弱くなっている所以で諸経費を切り詰めている。今年の賛助金運動は是非目標の200万円を達成したい。

また、前田事務局長から現時点でなぜ会則改正に取り組むのかの理由説明がありました。北辰会の定時制課程同窓会活動は、大きく言えば全国の定時制高校同窓会活動に大きな足跡を残したものと思っている。北辰会総会、同期会、北辰会文集の発行等の北辰会活動を可能とした要因の一つは会則に代表される北辰会の組織の整備であったと考えている。これは後世に残すべきものと判断し、現状に即した会則を整備する必要があるとの立場に立ちました。との報告がありました。

兼田事務局次長からは「北辰HP」の閲覧が減っている。その原因の一つは原稿の減少が有ります。投稿を増やして下さい。との現状報告とお願いが有りました。

「北辰会報」、「北辰HP」、「北辰会声の便り」3本の広報活動で北辰会をより豊かな会員の皆様のオアシスにしようと結ばれました。

食事を摂りながら参加者相互間や、先輩後輩との間で話が弾み明日への英気を養いました。

